

## 北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	当院における膵神経内分泌腫瘍手術症例の治療成績と予後に関する後方視的研究
当院の研究責任者 (所属・職位)	一般・小児・肝胆膵外科学 教授 隈元雄介
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>膵神経内分泌腫瘍は膵臓にある神経内分泌細胞から発生する腫瘍の総称です。2010年時点で日本における発症数が10万人あたり1.27人と非常に稀な腫瘍ですが、健診機会の増加や画像検査機器の進歩により、世界的には増加傾向と考えられています。</p> <p>膵神経内分泌腫瘍は5段階の悪性度に分けられ、その悪性度によって生存率が異なることが知られています。そのため悪性度に応じた治療を行う必要がありますが、世界的に見てもその治療方針が定まっているとは言い難い現状です。その理由として、疾患自体が稀であり十分な研究がなされていないことが挙げられます。現在、多くの施設で膵神経内分泌腫瘍の治療方針が模索されています。北里大学病院では、これまでに膵神経内分泌腫瘍の手術を数多く行っており、その治療成績を基にした研究は膵神経内分泌腫瘍の治療方針の決定に大きく貢献することが予想されます。</p> <p>今後、ますます発見頻度が増えることが予想されている膵神経内分泌腫瘍に対して、北里大学から世界へ情報を発信したいと考えています。</p>
調査データ 該当期間	1988年1月1日から2022年3月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間内に北里大学病院および北里大学東病院で膵切除術が行われ、病理診断で膵神経内分泌腫瘍と診断された方
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>上記の対象となる方の、1988年1月1日から2022年3月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、手術に関する情報、検査データ、病理診断情報を利用します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究は、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p> <p>本研究の遂行のための費用は外科学医局研究費などを使用します。</p> <p>また、研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会にて審査を受け適切に管理されます。</p>
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への診療情報の使用に同意しない場合：

**2023年6月30日**までに下記までご連絡ください。

**所属・職位：**北里大学医学部 一般・小児・肝胆臓外科学 助教

**担当者：**贅 裕亮(ニエ ユウスケ)

**電 話：**042-778-8111

備 考